

## Adobe Experience Manager 用のまったく新しいXML Documentation Add-on

Adobe Experience Manager の機能を拡張して開発されたこのソリューションは、DITA コンテンツのコンポーネントコンテンツ管理システム (CCMS) として機能します

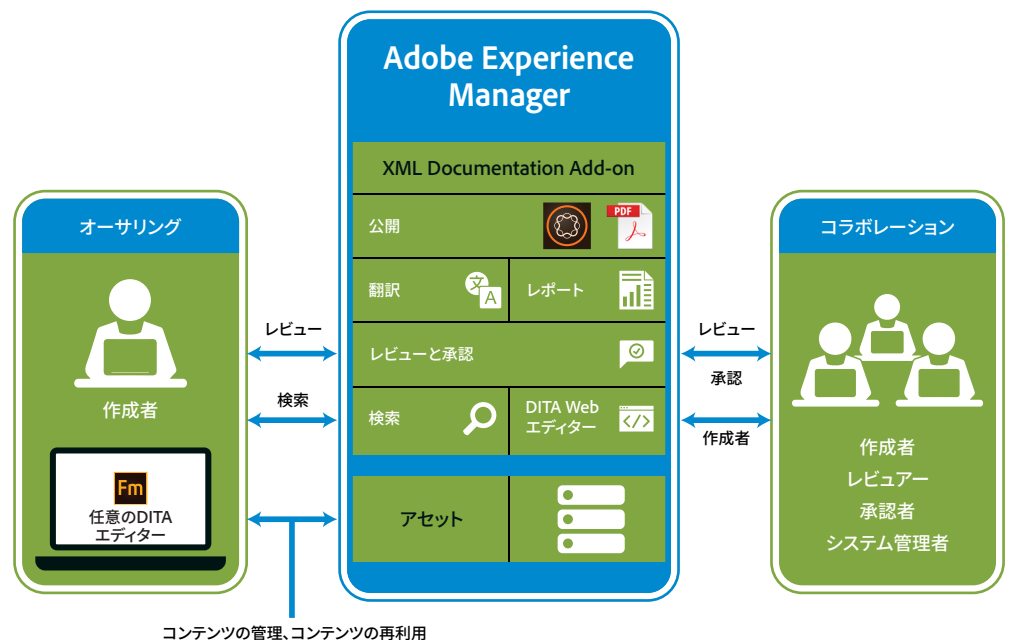
# XML Documentation Add-on for Adobe Experience Manager

DITA ベースのコンテンツの作成と配布を行うための、エンタープライズクラスのコンポーネントコンテンツ管理用エンドツーエンドソリューション

XML Documentation Add-on for Adobe Experience Manager を導入すると、Adobe FrameMaker (2015 release) \* や使いやすい組み込み Web エディタなど、任意のオフライン DITA オーサリングツールを使用してコンテンツを作成することができます。このソリューションには、DITA コンテンツに関するコラボレーション、レビュー、承認、翻訳、検索、レポートなど、重要なコンポーネントコンテンツ管理システム (CCMS) の機能がすべて付属しています。コンテンツを効率的に再利用し、強力なワークフローを活用することにより、少ない時間でより多くの作業を行うことができます。また、便利なシングルクリック公開機能により、Experience Manager Sites、Experience Manager Mobile、PDF、Responsive HTML5、WebHelp、EPUB、Kindle など、現在広く普及している各種の形式で DITA ベースの出力を生成することができます。エンタープライズコンテンツの作業効率が最大 3 倍に向上し、商品化までの時間も短縮されます。これにより、販売前後のコンテンツが一貫したものとなるため、エンドユーザーにシームレスでパーソナライズされたエクスペリエンスを提供することができます。また、エンタープライズコンテンツについても、整合性を保ちながら詳細に管理することができます。エンタープライズ環境で複数のコンテンツ管理システム (CMS) を管理する必要がないため、ローカライズにかかる時間とコストが大幅に削減され、総所有コストについても最大 40% 削減することができます。

Adobe Experience Manager をベースとした、DITA コンテンツ用の強力なコンポーネントコンテンツ管理システム

## XML Documentation Add-on の仕組み



\*Adobe FrameMaker (2015 release) は、DITA に完全に対応したエディターであり、上記の機能が組み込まれています。FrameMaker (2015 release) は、別途購入する必要があります。

## 主な機能とメリット

### XML Documentation Add-on for Adobe Experience Manager の機能

- ・ DITA コンテンツ用の優れたマルチチャネル公開機能
- ・ 強力な DITA オーサリング機能とコンテンツ管理機能
- ・ Web ベースのレビューと承認による次世代のコラボレーション機能
- ・ 業界をリードする翻訳管理機能とローカライズサポート機能



#### DITA コンテンツ用の優れたマルチチャネル公開機能

Experience Manager に追加されたネイティブの DITA サポート機能をフルに活用して、Experience Manager Sites、Experience Manager Mobile、PDF、Responsive HTML5、WebHelp、EPUB、Kindle など、さまざまな形式で出力を生成することができます。生成された出力は柔軟に編集できるため、詳細にパーソナライズされた、関連性の高い、影響力のあるコンテンツをエンドユーザーに提供することができます。バッチ生成についても、簡単に実行することができます。

**メリット:** ワンタッチのシームレスなアプローチにより、エンタープライズコンテンツを簡単に公開できるため、商品化までの時間が短縮されます。



#### 強力な DITA オーサリング機能とコンテンツ管理機能

組み込み式の Web ベースエディターや、FrameMaker (2015 release) などオフラインの DITA エディターを使用して、DITA トピック、DITA マップ、DITAVAL ファイルの作成と管理を簡単かつ効率的に行うことができます。直感的な Web エディターのシンプルな文書処理インターフェイスにより、DITA に慣れているユーザーはもちろんのこと、DITA に慣れていないユーザーも、コンテンツを簡単に入力することができます。

**メリット:** 効率的な再利用を実現するために詳細なレベル (モジュール、コンポーネント、テキスト、グラフィック、マルチメディア、翻訳の各レベル) で最適化されたモジュール情報単一ソーシング機能により、オーサリング作業の生産性が大幅に向上します。



#### Web ベースのレビューと承認による次世代のコラボレーション機能

Web ベースのレビュー機能と承認機能により、複数の DITA トピックと DITA マップを送信してレビューを同時に行うことができます。マップレビュー機能を使用すると、ドキュメント構造とトピックフローを効率的にレビューすることができます。作成者とレビュアーは、レビューを行う際に、変更内容について簡単に共同作業を行うことができます。レビュアーは、前のバージョンとの差異をモニターしながら、フィードバックが正しく反映されているかどうかを確認することができます。管理者は、豊富な機能が搭載された管理ダッシュボードを使用して、レビュータスクと承認タスクの履歴をトラッキングすることができます。

**メリット:** 複数の作成者とレビュアーから構成される作業チームは、強力なレビューワークフローと承認ワークフローを使用してスムーズに協力し、手作業によるエラーを最小限に抑えることができます。



#### 業界をリードする翻訳管理機能とローカライズサポート機能

業界をリードする翻訳ベンダー向けに開発された Experience Manager の組み込みコネクタにより、その国固有のコンテンツの翻訳と管理を効率的に行うことができます。そのままの状態で使用できる詳細な翻訳レポートをフルに活用して、コンテンツを公開する前に翻訳されていない箇所がないかどうかを確認し、適切な修正作業を行うことができます。原文の修正内容に応じて翻訳済みコンテンツのステータスを管理できるため、修正された DITA ファイルの対象箇所を翻訳するだけで済みます。翻訳用に送信するファイルを、時間をかけて手作業で判断する必要はありません。

**メリット:** 翻訳作業にかかる時間とコストを大幅に削減し、エラーのないコンテンツを公開することができます。

## XML Documentation Add-on for Adobe Experience Manager の機能

- ・ 包括的な検索機能と、コンテンツ使用データによるタグ付け機能
- ・ 公開可能なコンテンツを確認するための詳細なレポート機能
- ・ パーソナライズされた出力をサポートする広範囲なタグ管理機能
- ・ API を使用した容易な統合機能
- ・ Adobe FrameMaker (2015 release) とのネイティブ統合機能



### 包括的な検索機能と、コンテンツ使用データによるタグ付け機能

DITA オーサリングツールに付属するシンプルなインターフェイスで、リポジトリ全体にわたるコンテンツ属性とトピックメタデータを使用して、基本的な検索から高度な検索まで実行することができます。検索結果にはコンテンツ使用データによってタグが付けられるため、再利用に最も適したコンテンツを簡単に特定して選択することができます。

**メリット:** 関連するコンテンツをすばやく検索して選択できるため、コンテンツを再利用するたびに ROI を最大化することができます。



### 公開可能なコンテンツを確認するための詳細なレポート機能

DITA マップレベルのさまざまなレポートに簡単にアクセスして、システムの状態を詳細にモニターすることができます。これらのレポートには、破損したリンクとリファレンス情報の一覧が表示されます。すべてのトピックについて、レビュー、承認、翻訳のステータスをレポート上で確認することができます。コンテンツを公開する前に、ワークフローの最後の段階でこれらのレポートを使用して、包括的なサニティーチェックを実行することもできます。

**メリット:** 公開前のコンテンツのチェックと修正が簡単であり、エラーのない状態でコンテンツを発行することができます。



### パーソナライズされた出力をサポートする広範囲なタグ管理機能

Experience Manager の広範囲なタグ管理機能を使用して、関連するタグを DITA のソースコンテンツに適用することができます。エンドユーザーはこれらのタグを使用して、コンテンツを詳細にパーソナライズすることができます。

**メリット:** 関連度の高いコンテンツを提供することにより、エンドユーザーは適切なコンテンツを選択して作業を行うことができます。



### API を使用した容易な統合機能

FrameMaker (2015 release) や既存の CMS など、任意のオフライン DITA エディターと簡単に統合して、Experience Manager Sites や Experience Manager Mobile にコンテンツを公開することができます。

**メリット:** 既存のインフラストラクチャを活用する容易な統合機能により、ソリューションをカスタマイズすることができます。



### Adobe FrameMaker (2015 release) とのネイティブ統合機能

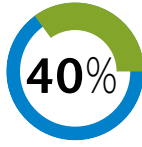
Experience Manager と FrameMaker (2015 release) を緊密に統合します。これは、組み込みコネクタにより Experience Manager のコンテンツリポジトリでシームレスに作業を行うことで実現します。このコネクタを使用すると、DITA コンテンツのオーサリング、レビュー、検索をすぐに開始することができます。

**メリット:** Experience Manager と FrameMaker (2015 release) で、すばやくシームレスに作業することができます。

## XML Documentation Add-on で実現する業務上のメリット

### XML Documentation Add-on for Adobe Experience Manager のメリット

- ・ 総所有コストを最大 40% 削減
- ・ エンタープライズコンテンツの作業効率が最大 3 倍向上
- ・ 一貫したエクスペリエンスをエンドユーザーに提供
- ・ エンタープライズコンテンツの整合性を詳細に管理



#### 総所有コストを最大 40% 削減

- ・ 購入、デプロイメント、統合、メンテナンス、ユーザートレーニングなど、複数の CMS を管理する場合の作業にかかる時間とコストを削減することができます。
- ・ エンドユーザーは Adobe のツールやシステムに慣れているため、このアドオンについても簡単に習得でき、トレーニングにかかるコストも削減されます。
- ・ コンテンツの作成者は、コンテンツの効率的な再利用機能、高度な検索機能、強力なレビュー機能と承認機能、次世代のコラボレーション機能を活用して、少ない時間でより多くの作業を行うことができます。
- ・ 複雑なワークフローを簡素化し、ベンダー用のコンテキスト内翻訳パッケージを使用し、重複した翻訳や正しくない翻訳を排除することにより、ローカライズにかかる時間とコストを大幅に削減することができます。



#### エンタープライズコンテンツの作業効率が最大 3 倍向上

- ・ Experience Manager のネイティブ DITA サポート機能により、1 回クリックするだけで、DITA コンテンツの取得と公開をシームレスに実行することができます。
- ・ 変更された箇所だけを作業すれば済むため、コンテンツ全体をもう一度公開する必要がなくなり、商品化までの時間が短縮されます。



#### 一貫したエクスペリエンスをエンドユーザーに提供

- ・ このアドオンを購入する前の段階から購入後のカスタマーサポートの段階に至るまで、コンテンツのエクスペリエンスはユーザーインターフェイスのどの場所においても一貫しているため、ユーザーの要求に応える満足度の高い設計になっています。
- ・ 重複するコンテンツや不正確なコンテンツは削除されます。



#### エンタープライズコンテンツの整合性を詳細に管理

- ・ 企業のブランディングガイドラインと重要な業界標準に完全に準拠しながら作業を行うことができます。
- ・ さまざまな診断レポートを使用して、公開前のコンテンツのエラーを最小限に抑えることができます。不完全なコンテンツや未承認のコンテンツが誤って公開されることがなくなります。

## XML Documentation Add-on を活用して組織内の作業を効率化

このソリューションには、以下のようなメリットがあります。



Experience Manager Sites、Experience Manager Mobile、PDF、Responsive HTML5 などのさまざまな形式で、ワンタッチですばやくシームレスにコンテンツを公開することができます。



1つの CMS だけで、マーケティング用のコンテンツも技術的なコンテンツもエンドツーエンドで管理することができます。



エンドユーザーは、購入前後に一貫したエクスペリエンスでコンテンツを処理することができます。



メンテナンスの間接費を最適化し、スループットのボトルネックを解消することにより、総所有コストを削減することができます。



Adobe の他のツールやシステムでの経験を活かして、使い方を簡単にマスターすることができます。



コンテンツの効率的な再利用機能と、レビュー、コラボレーション、翻訳の強力なワークフローにより、商品化までの時間が短縮されます。



ローカライズにかかる時間とコストを大幅に削減することができます。



公開前のコンテンツのエラーを最小限に抑えることができます。

ご質問については、  
[techcomm@adobe.com](mailto:techcomm@adobe.com)  
までメールにてお問い合わせ  
させていただきます



アドビ システムズ 株式会社  
〒141-0032 東京都品川区大崎 1-11-2  
ゲートシティ大崎イーストタワー

<http://www.adobe.com/jp>

Adobe, the Adobe logo, and FrameMaker are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.

© 2016 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.